

令和3年7月27日
於：岸根高校会議室 15:30

令和3年度 第1回 学校運営協議会 議事録

出席者：学校運営協議会委員

【長島様（すこやかサークル会長）・荒井様（篠原西小学校校長）・望月様（F・マリノススポーツクラブ）・三田様（岸根町内会会長）】

岸根高校

【平校長・吉田副校長・池山教頭・上前（カリキュラムG総括教諭）・宮崎（生活支援G総括教諭）・川崎（学校管理運営G総括教諭）・尾崎（地域連携協働G総括教諭）】

（Ⅲの4まで 司会：吉田副校長）

I 校長より

- (1) 挨拶
- (2) 委員紹介

II 長島会長より

「このような状況の中、学校運営協議会を開く岸根高校の強い意志を感じる。子どもたちの未来のために私たちも努力したい。」

・荒井副会長より

「岸根高校の学校運営協議会では、毎回資料がしっかりしている。日頃の様子を見てみると、岸根の生徒は穏やかで落ち着きがある。岸根高校の良さを伝えたい。」

III 報告事項

- 1 岸根コミュニティ・スクール概要・・・吉田副校長より説明 資料別紙
・神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 資料別紙
- 2 令和2年度学校評価 資料別紙
- 3 令和3年度岸根コミュニティ・スクール
① 学校運営協議会 ②部会 ③令和3年度岸根コミュニティ・スクール年間計画 ④組織図
- 4 不祥事ゼロプログラムについて

（IVより 進行：長島会長）

IV 協議事項

令和3年度学校運営の基本方針の承認

- 1 学校目標 資料別紙
- 2 スクール・ミッションの再定義について 平校長より説明あり 資料別紙

V 質疑応答および意見交換・岸根高校で育てたい生徒像

Q1 (長島)・・・夏期講習の「下水道マニア」とは、教員向けのものか？

A1・・・生徒向け。横浜土木事務所の方とのつながり等も生かした活動である。

Q2 (長島)・・・スクールカウンセラーやS S Wとの関わりはどうか？色々なことで悩みを抱えた生徒が増えている。月1回来てもらうのが望ましい。

A2・・・岸根では、S S Wに関わる案件は、他校に比べ多くない。スクールカウンセラーについては、月2回来校している。1日に6枠ある中で、休み時間や放課後等も予定が入ることもある。カウンセリングで足りない面を養護教諭が埋め、スクールカウンセラーの拠点校での相談日を紹介するなどしている。生徒だけでなく、保護者のみでのカウンセリングも行っている。

Q3 (三田)・・・再定義スクール・ミッションの2つめと3つめには、素晴らしい言葉が並んでいるが、優先順位は？

A3・・・2つめに「地域との連携を推進し」という文言があることに意味があると考えている。3つめの「主体的・対話的で深い学びの実現」に、ICT活用をプラスしていくという方向性である。

Q4 (荒井)・・・資料の「～不断の授業改善を進めるなど」の「など」には、何が含まれているのか？

A4・・・授業以外に、「学校行事」等が含まれる。

○教頭および各総括教諭より、「自分がどのような生徒を育てたいか」について表明

(荒井)・・・感染症対策をしっかりとりながら、できることを精一杯やるしかない。小学校でもICTを使う活動を行っているので何かしらの小学校・高校間の交流活動ができると良い。

「主体的・対話的で深い学び」を通して、必ずしも正解が一つとは言えない問いについても、考える力をつけてほしい。小中高と進むに連れ、高校ではいっそうの努力が必要となるのではないかな。

小学校でのインターンシップに参加した生徒が岸根高校出身で、クラブ交流や短歌交流の経験者だった。今後もよろしくお願いします。

(三田)・・・岸根を知ってもらおうという意味でも、「岸根を歩こう」は良い企画だったと思う。これからも、生徒に参加してもらえる活動をもっと企画していきたい。生徒には、「学校にいる時間」「家庭にいる時間」「その間の時間」各々を有効に使ってほしい。地域交流に向けて、今後も発信していく。

(望月)・・・サッカー界の指導者教育も、お互いの意見を尊重しながら進めていくようになっている。色々な生徒が存在することで、生徒も様々なことを考えて成長できる。サッカーだけではなく、社会貢献という意味でも、私たちマリノスが培ってきたものを生徒に伝えたい。新横浜にはラポール横浜もあるので、生徒に社会に学ぶ姿勢を持ってもらえるのではないかな。小さなルールを守ることから始まり、「岸根の生徒はまじめだね」と評価されるような教育をしていけるよう協力したい。

(長島)・・・法務省で行っている「SOS ミニレター」という事業でも、最近ではLGBTに関わる相談が増えているという。岸根は過去に同じような生徒が在籍し、対応してきた実績があり、受け入れる土台があると思う。また、荒井校長のお話にあったような、この地域の連携を通じた成果に関わる情報を得られるのは嬉しい。

これほど、高校生を大事にしてくれる地域はない。この連携がさらに深まることで、岸根の生徒の教育も深まっていくのではないかな。地域で全ての子供を育てていきたい。